

### 議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。

一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。



▲稲城第七小学校通学路(第二文化センター前)の様子

#### 自治体DXの推進について



いそむら 議員

**問** 自治体DXを推進するにあたり、より一層の業務の効率化が図られることが期待されるが、組織全体の生産性を向上させ、市民に対するサービスの質を向上させるためには、最適な人員配置や窓口時間の短縮などについても合わせて考えていく必要があると考えるが認識は。

**答** 窓口の受付時間の短縮や最適な人員配置などについて、総合的な視点に含めて検討する。

**問** 既に粗大ごみ手数料のオンライン決済を導入している自治体の利用状況や効果などを調査研究していただきたいが認識は。

**答** 粗大ごみ手数料のオンライン決済は、粗大ごみ予約後、取扱店での処理券購入の手間が省けるなど、市民の利便性向上に

つながる取り組みであることから、引き続き、先進自治体の取り組みなどを参考に検討する。

**問** 現在、本市では、図書館に行かなくても、メールでリクエストできる仕組みだが、ホームページからクリックすると必要事項の入力が全て一列に羅列されていて、入力しにくいと感じる。墨田区の図書館では、リクエストをフォームで入力できるので、利用者にとって大変使いやすい。このようなWEBリクエストサービスの導入について検討していただきたいが認識は。

**答** WEBリクエストサービスの導入については、システム改修が必要ことから、今回のシステム更新時に向けての研究課題とする。

#### 「ジャイアンツタウンスタジアム」の開業に向けて



角田 議員

**問** 市の認知度向上のためにも、機会を捉えた情報発信が重要になると考える。市の魅力をどのようにPRしていくのか。

**答** 開業に向けた市の魅力発信は、稲城市PRパンフレットを活用し、恵まれた自然環境や飲食店など、様々な観光資源をPRし、認知度の向上を図り、開業後は、読売グループとの包括連携協定に基づき、スタジアムにパンフレットを常設してもらうなどの協議をしていく。

**問** 各地の観光地では、過剰な観光客で混雑し過ぎることで、地元の生活環境や自然環境が破壊され、持続可能な観光が困難になるオーバーツーリズムと呼ばれる現象が起こっている。当市も、多くの方が訪れることが

想定されるが、そのことによる課題について市の考えは。

**答** 多くの人が集まることで、混雑やマナー違反などが発生し、地域住民にゆくない影響が出るのが想定される。今後、読売グループと連携し、市ホームページなどにより、来場者のモラルとしての具体例を提示し、周知することで、地域住民を守るだけでなく、来場者の満足度アップにもつなげていく。

**問** 市内を回遊してもらうことについて、見解は。

#### 校内別室指導支援員の活用状況と今後の取組について



村上 議員

**問** 校内別室指導支援員(以下、支援員)の活用成果については、別室に登校した生徒への個別の支援や見守りなどを行うことにより、生徒一人一人の実情に応じた支援の充実が図られていると伺う。市ではこれまで、校内で不登校気味の児童・生徒を見守り、指導を行ってきたと認識している。他自治体で、支援員を配置できたことで、毎日受け入れができるようになった、教員の見守りに係る負担軽減となり、働き方改革につながったとの回答があった。この点について市での成果は。

**答** まず、従前から、指導・支援を教員が行っている。その上で支援員が教員のサポートを行うことは、教員の負担軽減の一

助になっている。

**問** アンケート調査では、全ての授業時間帯において通年配置したことにより、生徒にとって校内で安心していられる居場所になっているとの回答もあった。毎日校内別室指導を開設できること、校内において安心していられる居場所になっているのかの評価については。

**答** 従前から、申し出たときには、生徒を迎えているが、体制を整えたことは、生徒の利用しやすさにつながっており、また、校内別室が安心していられる場所の一つと感じている生徒もいるものと認識している。

**問** 今後の取り組みについては。

**答** 引き続き、効果的な活用を図っていく。

#### 自走式水洗トイレカー(車両)の導入について



梶浦 議員

**問** トイレカーの市導入を検討することについて見解は。

**答** 市では、大規模災害による断水に備え、マンホールトイレのほか、簡易トイレを全ての指定避難所に整備している。また、避難所となる小中学校などへ、生活用水井戸を整備している。トイレカーの導入については、一見便利なものと見受けられるが、能登半島地震へ被災地支援として派遣された職員が使用したところ、便槽のし尿がすぐに

いっぱいになって使用できなくなったことや、便槽にたまったし尿を処理する必要があることから、現時点では考えていない。

**問** トイレカーや防炎用モビリティ・トイレ車両などについて、近隣市の動向は。

**答** 調布市が令和6年度中、府中市が令和7年度中を目標として導入する計画と聞いている。

**問** トイレカー導入は、市民を守る防災対策として有用であり、平時には、屋外の市のイベントにおいて活用できる。今後、被災自治体からトイレカーが要請されることがスタンダードになるのではないかと考える。トイレカーのメリット・デメリットについて市の見解は。

**答** メリットは、迅速な設置と移動が可能で、衛生管理と生活環境の改善が図られること、デメリットは、導入コストが高額で、便槽のし尿処理や燃料補給が必須であることや、道路状況によっては被災現場へ到達できないことと考えている。

#### 市ホームページ全面改修に関わる地域情報発信について



土居 議員

**問** 地域に特化した市ホームページでの情報発信の現状については。

**答** 市民生活に必要な行政情報や市が主催する事業に関連する市民活動団体の情報を適時的確に情報発信しているが、市民活動団体などの自主的な活動などを情報発信することについては、行政情報などに比較すると、十分とは言えない状況であると認識している。

**問** 今後の取り組みについては。

**答** 市民活動団体の自主的な活動や取り組みに市民が興味・関心を持てるような情報発信ができるよう、全面改修に取り組んでいく。

**問** 市内で活動する最も近い団体が、自治会や町内会だと考える。各地域に住む住民が自分の住む地域情報を検索してもなかなか情報が出てこない状況を今後改善し、地域情報を得やすくすることで地域活動に参加してもらい、地域を愛し、市へのシビックプライドを醸成する一つの取り組みとして推進してもらいたい。各地域情報を掲載することは改修後のホームページでは可能であるのか。

**答** 市民活動団体の自主的な活動や取り組みについて市ホームページで情報発信することについては、市として以前より課題として認識していることから、今般の全面改修により、市民がより興味・関心を持てるような構造になるよう、構築作業に取り組んでいく。